

カトリック河原町教会だより

2013年12月

ご 降 誕



祭壇前の馬小屋の幼子イエス様

インマヌエル

インマヌエル、それは、「神は我々と共におられる」という意味である(マタイ 1・23)。この「共におられる」ということが、私たちと共に生きておられるということが、主の降誕によって完成した。主なる神は、私たち人間の命を共に生きるようになられたのである。

人間の命を生きること、それは、苦しみの連続である。私たちは、自分自身の苦しみも抱えているが、他者の苦しみも感じずにはいられない。人間とは、苦しみを共にする存在と言える。誰かに自分の苦しみを受け止めてもらうと同時に、誰かの苦しみを背負う。こうして私たちは、与えられた命を生きていくことができる。与えられた命を生かし合うことができる。人間は、一人で生きていけない弱い存在であり、共に生きていける強い存在でもある。すぐに傷つく弱い存在で

あり、誰かのために傷つくことができる強い存在でもある。

幼子イエスの姿は、傷つきやすい人間そのものである。だからこそ、私たちと苦しみを共にすることができる。私たち以上に苦しむことができる。インマヌエル、それは、最も弱い神が私たちと共に苦しんでおられること、最も強い神が私たち以上に苦しんでおられることである。

インマヌエルは、今も続いている。イエスは今も、世界の苦しみを共にしておられる。そして、キリストの体である教会も、現代世界の中でインマヌエルを証している。主の降誕によってもたらされたインマヌエルを……。

洛東ブロック担当司祭 一場 修

Merry Christmas

カトリック河原町教会のクリスマス

クリスマス市民の集い	12月24日(火) 午後6時半
主の降誕夜半ミサ	12月24日(火) 午後9時
主の降誕ミサ	12月25日(水) 午前7時・10時半

待降節黙想会

12月21日(土) 午前10時～午後4時 河原町教会聖堂
 指導司祭 阿部 仲麻呂 神父(サレジオ会)
 ・聖書、筆記用具を持参してください。
 ・個人黙想の間にゆるしの秘跡を受けられます。
 ・昼食は各自でお願いします。(集会室を使用できます。)

東日本大震災復興支援

♪ クリスマス チャリティーコンサート ♪

12月15日(日) 午後3時開演 (2時半開場)
 入場料 1,000円 (小学生以下無料)

(この演奏会の売上金は全額東日本大震災復興支援として、京都サポートセンターに寄贈します。)

出演(順不同)・桑山 彩子(パイプオルガン)・カトリック河原町教会
 聖歌隊・ノートルダム学院小学校合唱クラブ・京都聖母学院中学校・
 高等学校ハンドベル部・フルート・ホルン・ピアノのトリオ 林 ゆかり(フルート) 西川 幸恵(ホルン) 神永 強正(ピアノ)

ユスト高山右近列福祈願 金沢市内右近関連史跡巡礼

教育部キリシタン研究会主催による金沢市内右近関連史跡巡礼が10月29日(火)、18名が参加して行われました。金沢教会の木越邦子さんの案内で、金沢市内の以下の史跡を巡りました。金沢教会、キリシタン武士らの住居跡、南蛮寺跡、豪姫屋敷跡、金沢城大手門跡、東内惣構堀跡、卯辰山流刑者記念碑、西内惣構堀復元跡、最初の右近屋敷跡、南坊石など。



金沢教会右近像の前で

第34回京都南部ウォーカーソン

約700名が参加

第34回京都南部ウォーカーソンが11月4日(月)開催されました。9時半から河原町教会聖堂で開会式が行われ、花井神父様の祝福を受け、10時にスタートしました。

今年のウォーカーソンには、各教会の教会学校の子供たち、アヴェ・マリア幼稚園の園児たち、聖母学院、洛星中学、ノートルダム女学院の生徒たち、ご家族の皆さんやスタッフの皆さん、総勢約700名が参加しました。



□十二月行事計画
 (本紙四頁に掲載。)

□協議事項

各部会登録について

①来年からの各部会への参加者の登録を行う。

②名義だけでなく実務に携われる方の登録をお願いする。

③十一月中旬に、各部会および教会奉仕活動についての活動内容を記載した登録用紙を配付し、説明する。

④登録用紙の提出期限は十二月十五日。教会受付または三階事務室に提出。

役員改選について

来期役員改選の公示が十一月三日に行われ、被推薦者の受け付けは十一月十七日に締め切られる。

二〇一四年度スケジュール

一月、二月までが確定。以後のスケジュールは決まり次第公表する。

来期予算

①各部からの報告は十一月十七日が提出期限。集計・調整後、評議会にて承認。

②一月の総会で発表する。
 求道者に同伴する信徒養成講座

講座内容や受講後の対応について、「河原町教会だより」で紹介する。

教会門扉および柵の塗装について

錆や腐食している部分があり、塗装を検討する。塗装する色は、黒は重々しい印象を与えるので、他の色を検討する。
 クリスマスの飾りつけについて

①集会室の馬小屋の飾りつけはしない。

②クリスマス市民の集いで行っている映像放映は、あまり効果がないので取りやめる。

修道会紹介 ショファイユの幼きイエズス修道会

ショファイユの幼きイエズス修道会は1859年フランス、ショファイユに生まれ、2013年で創立154年になります。

日本には19の修道院があり、教育、福祉、教会奉仕を中心に活動しています。日本管区本部は兵庫県宝塚市仁川にあり、京都では、京都カトリック信愛幼稚園をはじめ、主日のミサの聖体奉仕など、河原町教会と関わりの深い修道会です。

創立者 シスター レヌ・アンティエ

ショファイユの幼きイエズス修道会の創立者はシスター レヌ・アンティエ(1801-83)です。彼女はもともとピュイの幼きイエズス教育会の会員でしたが、1846年、ショファイユの主任



司祭の強い要請を受けて派遣され、学校教育や福祉活動に専念するようになりました。修道会は教皇庁の認可を受けて1859年に誕生しました。

「人々が神を知り、神を愛するようになるために、私たちの全生涯を捧げましょう」

これは創立者レヌ・アンティエの言葉です。このようにシスターたちは、マリアにおいて幼子となられた神の愛の秘義を示すように招かれています。

現在、フランス、日本、カナダ、チャド、ドミニカ、カンボジア、ベトナムに共同体があります。シスターたちは、恵まれない貧しい人々へのキリスト教的教育に献身的に奉仕し、まさに「全

世界に行って福音をのべ伝える」活動をしています。

プティジャン神父の要請で日本に派遣された4人のシスター

江戸時代末期の1865年、禁教令が続く中、長崎の大浦天主堂で日本の信徒(キリシタン)を発見したプティジャン神父(後に司教)は、以前、ショファイユの修道院付司祭でした。プティジャン神父は、「浦上四番崩れ」によって砕かれた日本の信徒共同体を再建するだけでなく、教育や福祉を通して一般社会で苦しむ人々に救いをもたらすことを望み、総長のレヌ・アンティエにシスターの派遣を要請しました。日本への派遣を希望した60人の中から4人のシスターが選ばれ、禁教令が解けて間もない明治10年(1877年)に来日しました。

ヴィリオン神父とともに

日本の土を一刻も早く踏みたいと願った4人のシスターたちは、2か月弱の航海の末、ようやく神戸に到着しました。彼女たちを迎えたのは、後に河原町教会の主任司祭になるヴィリオン神父でした。当時、神戸教会の主任司祭として孤軍奮闘していたので、天からの援軍を得たような喜びようだったそうです。

日本到着後5日目から、ヴィリオン神父によって孤児や棄て子が次々と連れてこられました。シスターたちは言葉も周囲の状況も分からない中、託された赤ん坊を神からの贈り物として受け入れ、自分たちの内に働かれる神の愛によって育てていきました。

シスターたちは言語に絶する困難を乗り越えながら、教会や人々の必



来日した4人のシスター

要に応じて教育や福祉に献身的に奉仕し、日本管区の礎となりました。

私たちは、生き方全てを通して、イエスの愛を証します

ショファイユの幼きイエズス修道会のシスターは、次のような修道会の精神に従っています。「私たちは派遣された場で生活を共にしているその土地の人々と連携し、教会共同体との絆を保ちながら、恵まれない人々を優先し、私たちの使命であるキリスト教的教育によって、神が私たちと共におられることを証しするようお願い、祈り、行動します。」

京都修道院では、求道者のための講座や、月1回の聖書の分かち合いなどが行われ、また施設の一部を地域活動に開放しています。

また、仁川本部修道院では、ショファイユの幼きイエズス修道会の精神に沿って生活したいと望んでいる信徒で、修道会と公式に誓約する「アンシエ」も組織されています。



京都修道院

設立：1886年(明治19年)

〒604-0944 京都市中京区富小路通

押小路上ル橋町635-2

Tel 075-254-5221 Fax 075-254-5223

河原町教会十一月評議会報告要約
開催日 十一月九日(土)

□司祭団より

①聖堂地下倉庫にある不用品の処分を行うこと。

②十一月四日夕方、会館一階の自動ドアが不審者により壊された。けが人はいない。

□各部報告と検討事項

財務部 ①エレベーター設置・会館配水管修築特別献金は目標額の七割近くに達しているが、来年四月までに目標額が達成できるように協力を呼びかける。

②教会維持費の納入額が減少しており、未納者には納入を働きかける。また、新たに聖堂に設置した献金箱は、維持費納入にも利用可能であることを伝える。

施設管理部 次の教会美化デーで地下倉庫の不用品処分を行う。

広報部 ①教会を初めて訪れた方への対応策を検討中。②イクトウスの製本は年内に完了予定。③部会用掲示板を至急設置する。

教育部 ①十月二十日に中高生会遠足を実施。姫路教会で主日のミサにあずかり、姫路城大天守を見学。

②ウオーカソンでの河原町教会土曜学校の子供たちへのスポンサー献金額は、二〇二、九五五円。二十七名が参加。

③待降節黙想会を十二月二十一日(土)に行う。

④高山右近列福祈願金沢市内右近閣連史跡巡礼ツアーが、十月二十九日に行われ、十八名が参加した。

●2013年12月～2014年2月の行事予定●

(2014年1月、2月は予定です。変更場合があります。)

		行 事 予 定	
12/1	日	2014年度教会役員選挙投票日 / 評議会 12月例会 溝部脩司教様霊名のお祝い 10時半ミサ	
12/15	日		クリスマスチャリティーコンサート 午後3時 聖堂
12/21	土		待降節黙想会 10時 聖堂
12/22	日		教会美化デー
12/24	火	クリスマス市民の集い 午後6時半 / 主の降誕夜半ミサ 午後9時	
12/25	水	主の降誕	ミサ 7時・10時半
1/1	水	神の母聖マリア	元日ミサ 7時・10時半
1/5	日	主の公現	評議会 1月例会
1/12	日	主の洗礼	
1/25	土		洛東ブロック会議
1/26	日	河原町教会総会 10時半ミサ後 ヴァリオンホール 村上透磨神父様霊名のお祝い 10時半ミサ	
2/2	日		評議会 2月例会

お 知 ら せ

◇レジオナリエ「都の聖母」は、去る10月11日に1900回目の集会を行いました。今年は創立40周年に当たります。現在、会員は12名です。毎週金曜日11時から、花井神父様のご指導のもと集会をしています。



修築特別献金、維持費納入のお願い

5月からお願いしておりますエレベーター設置・会館配水管工事の修築特別献金の献金額は1,370万円(11月10日現在)になりました。来年4月末までに目標額2,000万円が達成できますよう、引き続きご協力をお願いします。

また、教会維持費の納入状況は、金額ではここ数年やや減少傾向が続いています。維持費袋は800名分発行していますが、実際の納入者数は昨年410名、今年420名となっています。新規の方が約30名いますので、人数は増えていますが未納者が増加していることとなります。維持費は教会財政の支えです。維持費の目安は収入の3%となっています。滞ることなく納入していただきますようお願いいたします。なお、献金箱を新調しましたので、維持費の納入にご利用ください。(財務部)



河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井拓夫神父 (1F)

19:15 一場修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)

19:00 花井拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井拓夫神父 (3F)

金曜日 15:00 シスター藤田智子 (3F)

19:15 村上透磨神父 (1F)

鶴山進栄神父の個人講座をご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村善朗神父「秘跡を学ぶ」

12月19日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

旧約聖書、新約聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導司祭 鶴山進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

参加ご希望の方は、事前に教会事務室までお申し込みください。※10:00からのミサは、どなたでも参加できます。